

しただの郷学園（笹岡小学校）懇談会

令和7年6月13日（金）午後7時から

【主な意見等】

- 下田地域の小学校5校を1校に統合するとは、どこの学校にまとめるのか。
また、下田中学校を含めた6校を1校に統合することもあり得るのか。
- 統廃合で学校維持費等に余力が出た時は、その分を人件費や施設費に回してほしい。
- 統廃合により国から経費の補助があるのか。
 - どこの校舎に統合するのかは、統廃合準備委員会での検討事項である。ただし、小学校5校を1校に統合すると、令和10年4月で各学年1、2クラスとなる見込みであり、このクラス数が入る校舎が必要となる。下田中学校の建物は、収容能力的に令和15年度前後にならないと、小学校1年生～中学校3年生までの9学年が入ることは難しい。よって、令和10年4月の統合時の校舎に下田中学校を用いることは基本的には考えていない。
少子化で寂しいという後ろ向きの話のみではなく、ある意味チャンスである。統合に向けては、実務上決めなければならない事に加えて、下田地域で学ぶとこういう学びができる等、むしろ下田地域が良いと思えるような教育環境をどうやって作っていけるのか協議していきたい。私たちだけで決めるのではなく、皆さんと一緒に秋から考えていきたいので、ご協力をお願いしたい。
 - 学校統廃合に要する経費についての国や県の支援は、調べているところであるが今のところは確認できない。学校そのものをより良くしていくような支援も模索していく。活用できるものは活用したいと考える。
- そもそもなぜ子ども達が少なくなっているのか。
 - 全国的に少子化傾向で、三条市も同じ傾向となっている。中でも下田地域が進んでいる状況であり、昨年度の出生者数は下田地域では22人である。
- 下田地域には、雪が多い、動物が出るなどの課題がある。提案だが、下田地域の小学校5校と中学校のPTA役員と教育委員会との間の懇談会を開催し、役員から報告や要望を聞いてほしい。
 - 今回、5回の懇談会を開催している。様々なお立場の方、お考えの方がいる。

様々な意見を教育委員会にお寄せいただき、私どももできる限りお答えしたい。その中で、教育委員会にお話したいということであれば機会を別途設けたい。学校関係者と PTA の皆さんと協議して、時期としては懇談会終了後の開催にしたい。PTA に限らず他の皆さんの要望もお聴かせいただきたい。

○ 令和 15 年度ころを超えると下田中学校校舎に 5 校の小学校の集約が可能とのことだが、令和 10 年 4 月に統合をして、令和 15 年 4 月にもう一度統合をすることになるのか。予算や子ども達の負担になるのではないかな。

→ 令和 15 年まで統合を待つというお考えもあると思うが、小学校において複式学級が続く状況を見ると、令和 10 年 4 月に一旦は統合すべきと考えている。仮に、令和 10 年 4 月にいずれかの小学校に 1 つに統合し、令和 15 年 4 月に下田中学校校舎に移動となっても、既に小学校としては 1 つにまとまっていて、令和 15 年 4 月は場所のみの移動となるので大きいハードルにはならないと考える。ただし、これらも秋から始まる予定の統廃合準備委員会での協議事項である。

○ 一時保育を栄地域のすまいるランド、三条地域のあそぼってに協力してもらっている。下田地域に一時保育がないことをどう考えているのか。それが下田地域から離れる要因にもなっているのではないかな。

→ 平日の一時預かりについては、下田地域も子育て支援センターで実施しているが、休日の一時保育はすまいるランドとあそぼっての 2 か所である。この場で即答できる話ではないので、検討させていただきたい。

○ 令和 10 年 4 月に笹岡小学校の子どもが他の小学校に移動することとなる場合、受け入れる校舎の学校の子どもにとっては慣れている環境であるため、移動する側の子ども達が萎縮しないような事前の配慮をお願いしたい。令和 10 年 4 月の 1 年生はもちろんのこと、そのときに 2 ～ 6 年生になる子ども達のケアもお願いしたい。

→ 統廃合により子ども達の環境が変わることに対してはしっかり対応しなければならない。ご指摘のとおり、いずれかの学校の校舎に統合するとを考えれば、統合で移動することとなる子どもと統合校の校舎として受け入れることとなる子ども達との間に壁が生じないよう細心の注意を払って進めていく。

- 統廃合で空いた校舎の、今後の施設の使い道は考えているのか。
- 新しい校舎を建てることは想定していない。統合先となる校舎の一定の修繕はあると思うが、大きい修繕は今のところ考えていない。校舎は避難所という役割もあり、市役所全体で考えていかなければならない。使い道について皆さんもお考えやアイデアがあればいつでもお聴かせいただきたい。

- 昨年度、下田地域は 22 人の出生とのことだが、例えば離島では都会から児童を 1 年間留学させるという取組を実施している。このような取組や児童数を増やす活動を検討しているのか。
- 今のところ具体的に子ども達の下田地域への留学制度導入を検討しているわけではないが、選択肢としてそれを排除しているものではない。

- 下田地域の少子化について、子どもの送り迎えの関係等で、旧三条地域の学校に通わせる親が増え、下田地域から子どもの流失があるように思う。その点についてお聞かせいただきたい。
- 三条市では、学区外通学については、基準はあるものの、ある程度柔軟に対応している。下田地域の子ども達が三条地域の学校に通っていることも事実だが、その人数が今回の統合の判断に影響を及ぼすまでにはなっていない。
統廃合の議論の中で、学区外通学の見直しは考えていないものの、下田地域で魅力ある学校をどう発信できるのか、下田地域の学校に通いたいと思ってもらえるよう、秋からの議論をしたい。

19 時 55 分終了（参加者 42 人）